

2026年度

小学5・6年生対象 英語パフォーマンステスト

Speaking Quest

スピーキングクエスト



Speaking Quest に関するお問い合わせを承ります。

TEL **0120-8888-44** 通話料 無料

※受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日・お盆期間・年末年始を除く) ※一部のIP電話からは082-512-0533へおかけください(ただし通話料がかかります)。



推奨環境

最新のミライシードの動作環境は、下記URLもしくは二次元コードよりご確認ください。
<https://bso.benesse.ne.jp/miraiseed/spec/index.html>

〈弊社教材・サービスにおける個人情報の利用目的・取り扱い〉

弊社教材・サービスでは、各採択校における弊社教材・サービスの利用に際して提供いただく児童様の個人情報を、当該教材及び付随サービス提供の目的で利用します。また、その情報を必要に応じて弊社が提供するほかのサービスの情報と併せて、弊社の学習・進路・進学・就職支援のための教材・情報提供サービス等の基礎資料・データとして利用します。弊社は、商品・サービスに係る研究開発を目的として、ベネッセグループ会社または関連会社、教育・研究機関やその他提携する法人等に、情報の取り扱いに関する契約を交わしたうえで、いただいた情報を個人が特定できないよう加工や統計処理・分析をしたうえで提供し、提供先が利用することがあります。また、弊社または提供先が情報の分析・解析のために、情報を加工・改変することがあります。個人情報は学校様および児童様の意思に基づきご提供いただくものとなりますが、不足がある場合弊社からの商品・サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。成績推移データの提供や、毎年の入試結果の総括を行い次年度の入試動向を予測する統計データ等作成のために、提供いただいた情報を一定期間保管いたしますが、その情報の取り扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。弊社は、個人情報の取り扱いを、第三者に業務委託することがありますが、その場合には、当該第三者との間において委託契約書を交わしたうえで、適切な管理を行います。このような業務委託および、法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前の同意なく第三者に提供することはありません。
 株式会社ベネッセコーポレーションCPO(個人情報保護最高責任者)

〈お問い合わせ先〉

当社の個人情報の取扱いに関する「苦情」、当社の保有個人データの利用目的の通知の求め、「開示等の請求等」、利用停止、第三者提供の停止、消去その他の手続きに関するお問合せは、下記窓口までお申し出ください。
 個人情報に関するお客様ご相談窓口 電話:0120-924721(通話料無料、9時～21時 年末年始除く)

〈データ取り扱いへの取り組み〉

データ集計等のシステムにおいては万全の機密性を確保し、厳重な管理のもとに取り扱っております。
 ■2016年11月にプライバシーマークを取得しました。■ISMS取得事業所でのデータ集計を行っています。
 ※プライバシーマーク制度は、個人情報の取り扱いを適切に行っている事業者を、第三者機関である(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)及びその指定機関が評価・認定し、その証としてプライバシーマークロゴの使用を許諾する制度です。
 ※ISMSとは、企業・組織の情報システムの機密性、完全性、可用性が確保され維持されているかどうかを確認する規格です。



Pangaea / PIXTA(ピクスタ)



特許取得 (特開2021-110773)



PC・タブレットで
ご利用可能

英語でコミュニケーションする楽しさを体験!
 児童一人ひとりの力が一目でわかり、
 明日からの授業改善に生かします!



2021年度日本e-learningアワード「総務大臣賞」、
 Global e-Learning Award「Silver 賞」をダブル受賞しました。

日々の授業で学んだ英語で聞く・伝える経験を!

画面上のキャラクターとの会話を通じて、「コミュニケーションをとれた実感」が児童の学習「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価観点別に

意欲につながります。成績評価をサポートします。

動画でも商品詳細をご確認いただけます。以下のQRコードからご覧ください。



POINT 1

日々の授業の定着が楽しく測れる練習モード

- 練習モードでは授業で習った表現を声に出し、やりとりを通じて復習することができます。いつでも取り組み、学習の定着を測ることができます。
- 問題に回答した後は、正誤判定と解説に加えて、児童は自分の回答音声を再生しお手本音声と聞き比べることができます。
- ひとつの単元の学習が終わるごとに完了演出があり、自発的な学習を促すきっかけがあります。



POINT 2

評価観点に基づいた問題で構成されたテストモード&アンケート

- テストモードでは学習指導要領の評価観点に応じた、大問3つ×設問3つが出題されます。評価観点ごとの正誤判定は先生画面で確認でき、成績等に反映していただくことができます。
- 児童の回答によって難易度を調整する「ヒントモード」※を搭載し、児童一人ひとりに合わせた学力判定が可能です。

※「ヒントモード」はキャラクターがヒントを出し、自信がない児童も取り組みやすいようサポートする機能です。

特許取得 ヒントモードに遷移した児童も同じタイミングでテストを終了できます。

- テスト後にはアンケートで児童の理解度や意欲を可視化します。



POINT 3

成績評価をサポートする先生向け管理機能

- 練習モード・テストモードそれぞれで児童一人ひとりの履歴を表示し、音声を聞きながら学習の進捗や定着度を確認することができます。
- クラスの平均正答率や苦手な単元が一目でわかります。テストの解答集と日々の授業にご活用いただける復習ワークシートをご用意しています。
- テスト後のアンケートの結果で、年間を通した児童の学習意欲や学習に取り組む態度の変化を読み取ることができます。

※解答集+復習ワークシートは、お申し込み後送付いたします。



POINT 4

学校にある端末でスピーキング力を測定

- 学校でお持ちのパソコンやタブレットなど推奨端末でご実施いただけます。



- テスト実施のマニュアルはお申し込み後事前にお届けいたします。
- 学習のプラットフォームとして **3503iD** より取り組みます。
- テスト後すぐに表示される結果レポートは、児童の学習モチベーションにつながります。





児童向け

練習モード・テストモード

小学5・6年生※の学習内容を反映した問題を单元ごとにご用意しています。

練習モード テストモード の2つから目的に応じて選び、授業の中に取り入れていただけます。

※お申し込みは学年単位となります。



トライアード
の英語学習コンテンツです。このアイコンが目印です！

練習モード



1年間で習う学習範囲のすべての問題を搭載！

練習モードでは、取り組みたい内容を单元一覧から自由を選択することができるので、授業で学んだことをすぐ復習していただけます。また、テストモードに挑戦する前のウォーミングアップとしてまとめて取り組むこともできます。



キャラクターと一緒に楽しく英語を学べる

質問に対して児童が音声で回答し、音声認識機能を通じて評価・判定いたします。決まった台詞の読み上げではなく、児童が応答したい内容を回答できるので、場面や状況に応じて必要な回答を導き出す練習になります。

テストモード



児童の回答例

When is your birthday?

キャラクターの応答例

My birthday is July 3rd.

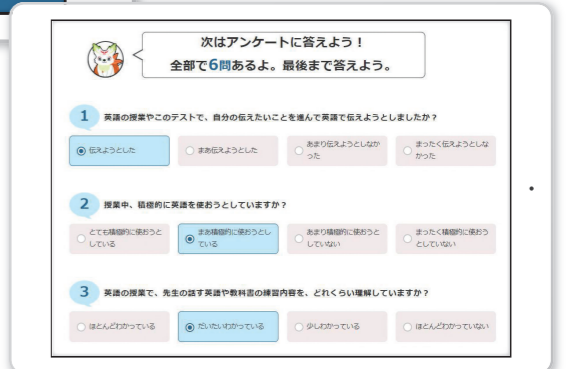
学期の中で学習した3つの单元について定着度を測ることができます。单元は5・6年生の1・2・3学期(前期・後期)それぞれご用意しています。

テストの後に児童がアンケートに回答することで、先生管理画面で結果を確認し「主体的に学習に取り組む態度」の評価を学期ごとに行うことができます。

アンケート▼

テスト構成(1学期分)

大問1	知識・技能	3問	状況設定文をヒントに質問に回答する設問
大問2	思考・判断・表現(やりとり)	3問	会話を想定した質問をしたり、質問に回答する設問
大問3	思考・判断・表現(発表)	3問	他者に対して発表するシチュエーションを想定した設問
アンケート	主体的に学習に取り組む態度	6問	テストや授業に関する質問



印刷もOK!



児童用結果レポート

テストが終了すると結果を反映した個別レポートが表示されます。「きみのすごいところ!」「さらにパワーアップ!(今後がんばって取り組む必要があるところ)」の2点で表現することで、児童自身が理解度や次の目標を認識でき、モチベーションにつなげることができます。先生管理画面から印刷も可能なので、児童や保護者の方へ配布していただくこともできます。



先生向け

単元設定・結果確認

児童の練習やテストの結果を一覧で確認することができます。

児童の回答音声を聞くことができるので、

一人ひとりのテストへの姿勢を確認することができます。



PCのみで
ご利用可能

24年度以降の履修内容にあわせて、
ベネッセオリジナル単元の新問題を搭載!

出題単元の設定

テストモードで出題する単元は、履修内容に応じて各学期3つ選択していただけます。

あらかじめおすすめ単元を3学期分設定しておりますが、テストモードを実施する前に単元を入れ替えることもできるので、授業の進捗に応じて最も定着度を測りたい単元を選択し、評価にご活用いただけます。

練習モードについては、出題範囲を設定せずにお使いいただけます。

特許取得 学習進捗に合わせて、
単元を自由に設定いただけます。



5年生 単元一覧

1 学期	2 学期	3 学期
1 あなたの好きなもの	6 あなたができること	13 日本の季節や行事
2 たん生日やほしいもの	7 場所をたずねる	14 あこがれの人
3 時間わり(教科や曜日)	8 注文・ねだんを聞く	15 5年のふく習
4 あなたができること*	9 あなたの住む町	16 場所をたずねる*
5 一日のスケジュール	10 一日のスケジュール*	17 注文・ねだんを聞く*
—	11 行ってみたい国	18 行ってみたい国*
—	12 身近な人のしょうかい*	19 おすすめを伝える
—	—	20 あなたの町のしょうかい

6年生 単元一覧

1 学期	2 学期	3 学期
1 一日のスケジュール	8 夏休みの思い出	15 なりたいしよく業と夢
2 週末の過ごし方	9 小学校生活の思い出	16 中学校生活
3 日本でできること	10 行ってみたい国	17 小学校英語のふく習
4 日本のみりよく	11 動物のくらし	18 小学校生活の思い出*
5 宝物や好きなもの	12 地球の生き物	—
6 自分の町のしょうかい	13 わたしたちの食生活	—
7 あなたの好きなもの	14 買い物のやりとり	—

ベネッセおすすめ単元

1～3学期に単元を割り振っていますが、学期を超えて単元を選択いただけます。

2学期制の学校は1学期を前期、3学期を後期として授業の進度にあわせて単元をご選択ください。

※幅広い履修内容に対応するため、複数学期で同じ単元を出題しております。問われる問題は同じですが、会話の場面やイラストなど内容が異なります。

結果確認

練習モードは学年×クラス単位、テストモードは学年×クラス×学期単位で閲覧することができます。CSV形式でのダウンロードも可能で、テスト後の成績への反映にもご活用いただけます。



評価設定

テストモードは各学期のテスト結果ごとに評価基準を変更できます。

※図版の数字は例として記載しています。実際はそれぞれご設定いただけます。



評価の変更

AIが判定した評価が自動で表示されていますが、先生が児童一人ひとりの音声を確認し、評価を変更できます。また、学習指導要領の観点ごとに評価ができるので、スムーズに成績へ反映していただくことができます。



評価観点

各問題に対して1つの決まった回答ではなく、実際のコミュニケーションシーンを想定した観点をもとに評価判定しています。

(例) 問題 What fruit do you like?

評価	観点	回答例
◎ 正解 (完全正解)	問題の回答として適切	I like apples.
○ 正解 (許容解)	問題の回答として適切ではないが、意思疎通は可能	I eat apples.
× 不正解	質問の意図とは異なる回答や意思疎通が不可能な回答、もしくは無音	Fruits.

※例として各観点に1つ回答を示していますが、観点にそっていればその他の答えでも評価致します。
※雑音や他の児童の声が含まれる場合、また「答えの言い直し」は採点システムで正しく判定できません。
※実際の際は、児童ごとの席の間隔をあけて、ヘッドセットをご使用ください。



お届け資材



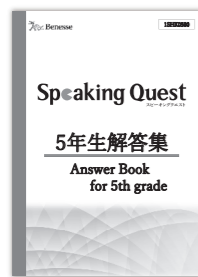
先生用マニュアル

事前の設定準備からテスト後までの流れをご確認いただけます。「実施の流れ」では手順や児童が見ている画面イメージとともに、当日のテスト実施時の先生用台本も掲載しています。また、ミライシード内のご利用者専用ページ内で使い方動画もご用意しています。



解答集+復習ワークシート

明日から授業に生かせる「解答集+復習ワークシート」です。



解答集

解答集にはすべての問題と模範解答が掲載されており、テストの単元設定時の参考にご利用いただけます。

復習ワークシート

各学期の中で苦手とされる単元の定着をより高められるよう、「復習ワークシート」も本解答集にご用意しています。テスト後の復習活動（読む/書く/やりとり）のひとつとしてご利用ください。コピーして児童に配布しご実施ください。

5年2学期 テスト問題・模範解答

2学期のおすすめ単元は単元番号6・7・8です。3・4年生や5年生1・2学期の履修内容を目安としておすすめしております。

単元	場面設定文	状況設定文	画面イメージ	問題・模範解答
練習問題		ケンとあいさつをしよう！		出題音声 How are you? 模範解答 I'm fine. ※練習は正誤判定を行っておりません。
6. あなたができること		今日は学校でスポーツ大会が開かれるよ。友だちのケンといっしょに楽しもう！		出題音声 Can you play baseball? 模範解答 Yes, I can. / No, I can't.
7. 場所をたずねる		ケンが何かをさがしているよ。ケンの質問に答えよう。		出題音声 Where is my cap?
8. 注文をたずねる		今日は学校でスポーツ大会が開かれるよ。友だちのケンといっしょに楽しもう！		

2学期の復習ワークシート

復習の目標 できることや場所についてのやりとりを復習しよう！
ポイント 場所を表すいろいろな表現を使いこなそう。
取り組む時間の目安 20分

① 会話を声に出して読んで、表現を復習しよう！

～友だちと得意なスポーツについて話そう～

① Can you play [basketball] ?
② Yes, I can. Do you want to play [basketball] ?
③ Yes, I do! Let's play! Where is the park?
④ Go straight. Turn right at the third corner. You can see it on your left.

② ①の□をあなたが得意なスポーツにして英語の一文を書いてみよう！ (①を参考に書いてみよう)

思い浮かばないときは右のスポーツから選んでみよう！

baseball soccer tennis badminton

サービス概要



対象

小学校5年生、6年生 ※お申し込みは学年単位となります。

サービス内容

- 学期単位のスピーキングテスト（1・2・3学期分） ※2学期制の学校もご利用いただけます。
- 練習問題（1学年分）
- 先生向け管理機能
- 送付物 ※詳細は下記資料をご参照ください。

実施の流れ

実施にはパソコンもしくはタブレット、**ヘッドセット**を必ずご用意ください。また、本冊子の裏表紙に記載のある推奨環境をご確認いただき、**適切なネットワーク環境**をご用意ください。

1 お申し込み

お申し込みは弊社営業担当までお気軽にお申し出ください。もしくは、裏表紙に記載の窓口までご連絡ください。個別に詳細内容をご案内いたします。

2 資料のお届け

実施に必要な1年間分の資料をお届けいたします。



3 実施

時間割案

Speaking Quest のみを実施する場合			
説明・準備 約5分	練習モード※ 約5分	テストモード・アンケート 約15分	復習モード 約5分

※テスト前の練習モードの利用は任意です。

Speaking Quest			Challenge English for school	
説明・準備 約5分	テストモード・アンケート 約15分	復習モード 約5分	切り替え 約5分	フォニックス・単語等 約10分

※Challenge English for school についての詳細はP10以降をご覧ください。

※テスト後の「復習モード」実施後に、復習としてSpeaking Questの「練習モード」で、テスト単元と同一単元を取り組んでいただくことも可能です。

4 成績確認

先生用管理画面で確認できます。



※結果レポートはテストモード実施後に表示されます。

発信力を高めるための習熟度別トレーニング教材

Challenge® English for school

「聞く」「語い」力を読み書きの素地を作りながらのびします

- 習熟度別レッスン 1回5分/全約500レッスン
- 教室の中でも個人のペースでインプット学習を可能に



聞く

まとまった英文を聞いて内容をつかむ



語い

聞いてわかる・読める単語を増やす



アルファベット (読み書きの素地づくり)

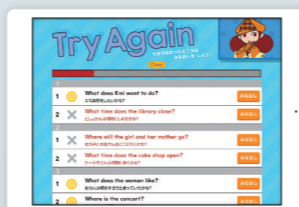
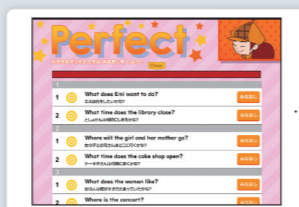
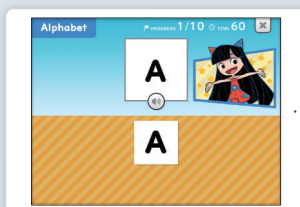
大文字・小文字の形や読み方を学ぶ



フォニクス (読み書きの素地づくり)

英語の音と文字の関係を学ぶ

できたことの認め、結果の振り返りまでキャラクターの先生が応援!



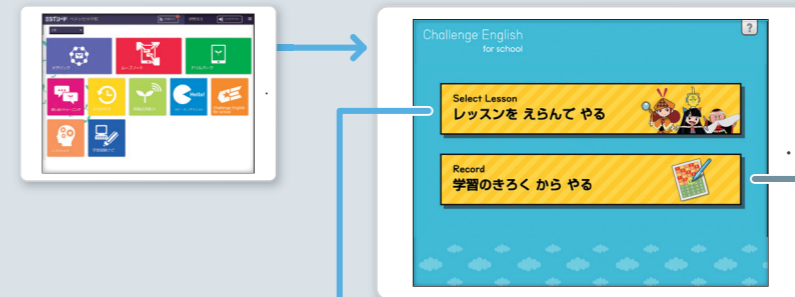
レッスンをナビゲートする先生が正解・不正解時にほめたりはげましたり、レッスンが終わると結果画面で答え合わせを促します。

授業で

帯活動で

自習時間に

様々な英語活動の中に取り入れていただけます。



〈レッスンを選んでやる〉モード

クラス全員で
同じレッスンに取り組み、
授業の発展的学習を行う



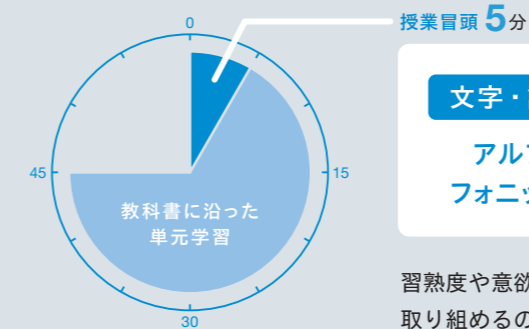
〈学習のきろくからやる〉モード

児童が自分のペースで、
自分に合ったレベルから
学習を進める



活用事例

ケース1 「文字学習」の位置づけで授業に組み込む



文字・読み書き学習
アルファベット・
フォニクスレッスン

・アルファベットを覚えながら、
文字と音の関係を学ぶ
・フォニクス学習で
英語を読み書きする素地づくり

習熟度や意欲に合わせて、同じ時間に1レッスンから複数レッスンまで取り組めるので、児童の英語学習の習熟度差に対応できます。

ケース2 持ち帰り学習の「宿題」として活用

取り組みから答え合わせと見直しまで児童一人で進められる仕組みですので、レッスンを指定して宿題を出すことができます。夏休みや冬休みなどの長期休みの宿題にすることも可能です。



オリジナルカリキュラム

〈Challenge English〉独自のカリキュラムです。
英語力を初学者でも既習者でも着実に伸ばせるようになっています。

	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
リスニング (聞く)	<p>自己紹介や挨拶などの短いやりとりを聞いてわかる</p> <p>フレーズ</p> <p>How are you? I'm fine, thank you. What's your name? How old are you? Do you have ____? Yes, I do. / No, I don't. Let's ____.</p> <p>OK! など</p>	<p>好きなことやできることなどのやりとりを聞いてわかる</p> <p>フレーズ</p> <p>Do you like ____? Yes, I do. / No, I don't. Can you ____? I can ____. What ____ do you like? I like ____. Where do you live? I live in ____.</p> <p>など</p>	<p>道案内や買い物、今していることのやりとりを聞いてわかる</p> <p>フレーズ</p> <p>Go straight. Turn right. I'd like a hot chocolate. Where is ____? How much is it? It's ____. Who is this? He / She is ____.</p> <p>など</p>	<p>様々な質問のやりとりや1日にすることを聞いてわかる</p> <p>フレーズ</p> <p>Which do you like better, A or B? What's this? I get up at six. When is your birthday? It's ____. I'm from ____. How was ____? It was ____.</p> <p>など</p>
ボキャブラリ (語い・単語)	<ul style="list-style-type: none"> ● 食べ物 ● 色・数 ● スポーツ ● 動物 ● 天気 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 文房具 ● 教室の中にあるもの ● 科目・曜日 ● 12か月・季節 ● 人・家族 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 数字 (1~100) ● 楽器 ● 方向 ● 位置 ● 自然 ● 建物 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 職業 ● 街にあるもの ● 体の部位 ● 1日の生活 ● 動詞 <p>など</p>
語いサイズ※1	250語	550語	810語	1,010語
アルファベット	<ul style="list-style-type: none"> ● アルファベット大文字と小文字の形や読み方を学ぶ ● 高さに気をつけて大文字と小文字を書く※2 	—	—	—
フォニックス	—	● 英語の音と文字の結びつきや関係がわかる	—	—

※1 聞いて意味がわかる単語の数。
※2 文字認識判定はありません。



サービス概要

対象

小学校3年生~6年生

サービス内容

- リスニング (聞く) レッスン
- ボキャブラリ (単語) レッスン
- アルファベットレッスン
- フォニックスレッスン

※当社の英語教材である〈Challenge English〉を学校向けにアレンジした問題やデザインが一部含まれます。

学習の流れ

- どの技能・レベルからでもくりかえし取り組むことができます。
- 取り組み後は正答率に応じて、「Perfect/全問正解」「Cleared/合格」「Try Again/不合格」の3段階で結果が判定されます。
- 「Try Again/不合格」となったレッスンは見直しをして取り組みます。
- 結果は「学習のきろく」に反映され、良い結果が書き込まれていきます。

動作環境

- 最新のミライシードの動作環境は、下記URLもしくは二次元コードよりご確認ください。
<https://bso.benesse.ne.jp/miraisseed/spec/index.html>



限られた授業時間の中で 児童全員に英語を話す機会を



英語専科教諭 國田 将 先生

児童の英語学習のやる気を 底上げするきっかけに



英語専科教諭 池田 由恵 先生

Challenge® English for school

本校では、児童同士が1対1で話す言語活動を日々行っています。言語活動で使う英単語は、各Unitの履修単語に加えてChallenge English for schoolのVocabularyレッスンでも学習しています。Challenge English for schoolは、5分程度の短時間で実施できる

ので、すきま時間に練習を重ねることができ定着すると思われます。導入後は、児童が使用する単語のパリエーションが増え、話す活動のレベルも上がったように感じられます。

Speaking Quest

<練習モード>の良いところは、「話す」「聞く」という会話の基本的な練習を一人で行えることです。英語が苦手な児童も段々と英語を聞き取り、話せるようになりました。また、タブレットを通じてキャラクターと1対1で話すことで、授業内でも英語を話すことに慣れ、話すことの抵抗感が減ったように感じられます。その結果、授業の中でも英語を意欲的に話そうとする児童が増えてきました。高学年では、1学期中に約2回、児童と先生が1対1で行う「会話テスト」を実施しており、待機している児童向けにSpeaking Questの練習モードを活用し始めました。一人一人のペースに合わせて効率よく学習を進められるので、教員も会話テストに集中する

ことができます。

<テストモード>では、AIが「話す」ことの一次評価をしてくれるので、評価の参考にすることができました。録音機能もあるため、児童の録音を聞いて評価を確認し精度を高められることは「会話テスト」にない強みです。また、テストに出題する範囲を授業に合わせて設定できることや、児童ごとに問題がランダムに出題されるのは教員側から見ても公平性を保つ意味で安心できます。さらに、普段の会話テストでは見取りづらい児童の英語表現の「正確さ」を含めて児童の学習状況が確認できることで、より児童の実態に合った授業作りを行うことができます。

北諏訪小学校が実践!

- 7 より英語を学ぼうとする(学ぶ意義を理解する)
- 6 自分の話したことが実用的であることを知る
- 5 Speaking Quest (テストモード) 具体的な場面設定での会話テスト
- 4 ALTやJETとの会話テスト裏で Speaking Quest (練習モード) 活用



- 1 教科書単元を元に構文を学習
- 2 ペア学習で構文の活用練習
- 3 Speaking Quest (練習モード) 構文を繰り返し『聞く』『話す』

Challenge English for school
単語、構文に慣れる

児童の声

英語を繰り返し聞くことができるので、自分
分かるまで発音を聞き直せるところがよかった!

操作がしやすかったし、
ストーリーがあるのが楽しかった

Speaking Questは、各シチュエーションが具体的に設定されているため、児童も英語を実際にどのように使うべきなのかイメージできるのではないかと思います。現実起こりうる具体的な場面の中で、話すことに挑戦し、伝わることを知ることで、「英語を話すことは楽しい」と思い、より英語を学ぶこと、話すことに意欲的になると思われます。Speaking Questは、そんな可能性が広がって

いくツールだと感じています。また、Speaking Questを活用し、一人ひとりの英語を話す力を確認することで、その児童に合った声かけや指導が行えると考えています。そうすることで、児童に英語が「伝わる」ことは「楽しい」を多く知ってもらい、そういった「成功体験」を重ねることで、「英語を話すこと」への自信を育てていきたいです。



東京都
多摩市立北諏訪小学校

School Data

東京都の西部、多摩丘陵にある多摩市立北諏訪小学校。多摩市教育委員会が掲げる「日本一英語を話せる児童・生徒の育成」を目標に、英語専科教員や外国語指導の経験が豊富な教員が指導を担当している。また、令和3年度年度から小学校2年生で「英語遊び」の時間を設定し、年間17時間の授業を開始する。



愛媛県
西予市立野村小学校

School Data

愛媛県南部に位置し、豊かな自然の中児童たちの健やかな成長と学びを育んでいる西予市立野村小学校。英語専科教員に加え、週に2回ALTがサポートに入りスモールトークを実施し「英語でコミュニケーションができる喜び」を児童が実感できる指導を大切にしている。

Challenge® English for school

これまでは週に2回、ALTに5分間のフォニックスの指導をしてもらっていたのですが、その内1回をChallenge English for schoolのフォニックスの学習に置き換えました。すべての児童が声を出して英語に取り組むことができ、児童の積極的な学びにつながっていると感じます。残り1回をALTとのスモールトークの時間にしているのですが、『コミュニケーションを取ることが楽しくなった』という児童の声を多く耳にするようになりました。

私の指導方針では「フォニックス」をしっかり習得してから「語い

力が高めることが「リスニング」につながるという考えなのですが、Challenge English for schoolでは「フォニックス」「語い」「アルファベット」「リスニング」と、いろいろな学習ができるので、英語教育に必要なスキルの向上に役立っています。普段の宿題やテキストよりも、児童の「やりたい!」という気持ちを引き出してくれるので、やる気のある生徒は自宅でも自主的に取り組み、どんどん学習を進めています。

Speaking Quest

練習モードは、テストに向けて3コマ前の授業から10分間の帯活動として活用しました。これまではALTと私で児童を半分ずつ担当してスピーキングテストを行っていましたが、1人ずつ評価するので、もちろん時間がかかりますし、待機している児童に対して効果的な指導ができないことが課題だと感じていました。また、同じ内容のテストでも、児童によって評価する教員が異なることで、公平な評価にならないのではないかという疑問も感じていました。

Speaking Questを使うことで一斉にテストを開始することがで

き、児童を待機させることなく、効率よく時間を使うことができるようになりました。さらに録音機能を使ってALTと一緒に解答を確認することができるので、評価のばらつきなどに対しても不安がなくなっています。活用当初は操作説明をテスト前に行っていたのですが、児童たちは日頃からタブレットやスマートフォンなど、ICT端末の使い方に慣れており、それ以降のテストや授業では、ほとんど説明なくスムーズに使用することができています。

児童の声

単語は知っていても会話だと
うまく答えられないことがわかった

だんだん自信がついて、先生の英語の
質問にも答えられるようになってきた

Challenge English for schoolとSpeaking Questを活用することで、教員だけでは補えない細かな部分まで、行き届いた指導ができるようになったと感じています。これまでは、「やりとり」の場面で、児童の表現をきちんと見取れているか不安でしたが、導入したことですべての児童に対して公平に評価することができ、さらに今まで気付かなかった児童の得意な部分を見つけるきっかけになりました。児童自身も英語で会話する回数が増えたことで苦手意識を払拭することができ、また、登場するキャラクターが褒めてくれ

たり応援してくれたりすることで、児童のモチベーションが上がり、自己肯定感の向上にも寄与しているように感じています。

西予市は学校での教育が児童の英語力の基盤になっているのですが、それぞれの学習レベルに合わせた公平な指導ができることは、今後中学に進んだときにも、英語に対して前向きに取り組むことができる後押しになるのではないかと思います。